

平成21年度 学校評価結果について

八戸市立是川東小学校

【 学校目標・学校運営等について 】

【 4：十分あてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない
1：ほとんどあてはまらない 0：分からない ※値は%表示 】

| 項 目 | 観点並びに今年度の取り組み | 対象 | 月 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
|---------------------|---|-----|-----------|----------|-----------|----|---|----|
| ①学校目標 | 学校は「国語・算数の基礎基本の確実な定着を図る」取り組みに努めている。 ・パワーアップタイム（朝の学習指導） ・チャレンジタイム（算数の発展的指導） ・家庭学習につながるノート指導の工夫 | 保護者 | 7月 12月 | 38 44 | 50 44 | | | 11 |
| | | 教職員 | 7月 12月 | | 100 17 | 83 | | |
| ②学習指導 | 学校は子どもの意欲を高めるよう工夫されたわかりやすい授業を行っている。 ・複式授業の研究授業の実践と日常化 ・学習のきまりの掲示や教室環境の整備 ・教材，教具の工夫と活用 | 保護者 | 7月 12月 | 38 67 | 38 33 | 13 | | 13 |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 17 17 | 83 83 | | | |
| ③生活指導 | 本校では，一人一人の心によりそった指導をしている。 ・あいさつの奨励 ・三者面談やアンケート等の実施 | 保護者 | 7月 12月 | 38 33 | 50 44 | 22 | | 13 |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 17 33 | 67 67 | 17 | | |
| ④学校行事 | 本校の学校行事は，子どもたちが活躍する場面があり，内容も充実している。 ・地域と連携した運動会や学習発表会等 ・是川小，是川中，複式8校との交流行事 ・トーンチャイム奏 | 保護者 | 7月 12月 | 63 89 | 38 11 | | | |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 83 83 | 17 17 | | | |
| ⑤学校運営 | 学校の教育方針や指導の重点が分かりやすく明確である。 ・参観日等を利用した説明の機会の充実 ・授業や諸活動の参観機会の拡充 | 保護者 | 7月 12月 | 50 67 | 38 22 | 11 | | 13 |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 17 17 | 83 83 | | | |
| ⑥教 職 員 | 本校の教職員は，子どもの努力を認め，一人一人を大切にしている。 ・全職員で子どもを育成する体制づくり ・全職員による学力検査の分析と活用 | 保護者 | 7月 12月 | 50 67 | 50 22 | 11 | | |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 67 67 | 33 33 | | | |
| ⑦広報活動 情報提供 | 本校は，学校や子どもたちの様子等の情報を家庭や地域に提供している。 ・学校だよりの全戸配付 ・学校ホームページの更新，ブログ公開 | 保護者 | 7月 12月 | 63 78 | 25 22 | 13 | | |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 67 83 | 33 17 | | | |
| ⑧保護者・ 地域との 連携 | 本校は，保護者や地域の活動に協力的であり意見や要望に耳を傾けてくれる。 ・地域と連携した行事の充実と参加協力 ・学校支援ボランティア活動の取り組み | 保護者 | 7月 12月 | 50 56 | 50 44 | | | |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 50 50 | 50 50 | | | |
| ⑨学校の 安全性 | 本校は，子どもたちの安全を考えた指導や訓練を行っている。 ・安全教室の充実（交通・災害・不審者対応） ・通学路安全点検の実施（週1回） ・学区安全マップの点検と指導 | 保護者 | 7月 12月 | 63 67 | 13 33 | 25 | | |
| | | 教職員 | 7月 12月 | 17 67 | 83 33 | | | |

【 小・中学校ジョイントスクール推進事業（継続指導項目）について 】

【 4：十分あてはまる 3：おおむねあてはまる 2：あまりあてはまらない
 1：ほとんどあてはまらない 0：分からない ※値は%表示 】

| 項 目 | 観 点 | | | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
|----------|------------------------|-----|-----|----|-----|----|----|----|
| ①あいさつ | 気持ちのよい返事やあいさつができる。 | 保護者 | 7月 | 13 | 75 | 13 | | |
| | | | 12月 | 13 | 75 | | 13 | |
| | | 児 童 | 7月 | 20 | 60 | 20 | | |
| | | | 12月 | 20 | 70 | 10 | | |
| | | 教職員 | 7月 | | 33 | 67 | | |
| | | | 12月 | | 67 | 33 | | |
| ②聞 く | 人の話をしっかり聞くことができる。 | 保護者 | 7月 | 25 | 63 | 13 | | |
| | | | 12月 | 25 | 63 | 13 | | |
| | | 児 童 | 7月 | 10 | 40 | 50 | | |
| | | | 12月 | 30 | 60 | 10 | | |
| | | 教職員 | 7月 | | 83 | 17 | | |
| | | | 12月 | 17 | 83 | | | |
| ③話 す | 正しい言葉遣いで、はっきり話すことができる。 | 保護者 | 7月 | | 50 | 50 | | |
| | | | 12月 | 13 | 75 | 13 | | |
| | | 児 童 | 7月 | 20 | 60 | 20 | | |
| | | | 12月 | 10 | 60 | 30 | | |
| | | 教職員 | 7月 | | 50 | 50 | | |
| | | | 12月 | | 83 | 17 | | |
| ④整頓・清掃 | 身の回りの整頓や清掃ができる。 | 保護者 | 7月 | 13 | 50 | 38 | | |
| | | | 12月 | 38 | 50 | 13 | | |
| | | 児 童 | 7月 | 20 | 60 | 20 | | |
| | | | 12月 | 30 | 50 | 20 | | |
| | | 教職員 | 7月 | | 100 | | | |
| | | | 12月 | 17 | 83 | | | |
| ⑤読 書 | 進んで読書に取り組んでいる。 | 保護者 | 7月 | 13 | 38 | 38 | 13 | |
| | | | 12月 | 38 | 50 | 13 | | |
| | | 児 童 | 7月 | 10 | 50 | 30 | 10 | |
| | | | 12月 | 20 | 50 | 30 | | |
| | | 教職員 | 7月 | | 33 | 67 | | |
| | | | 12月 | | 83 | 17 | | |
| ⑥家 庭 学 習 | 進んで家庭学習に取り組んでいる。 | 保護者 | 7月 | 25 | 38 | 25 | 13 | |
| | | | 12月 | 25 | 50 | 13 | | 13 |
| | | 児 童 | 7月 | 20 | 40 | 40 | | |
| | | | 12月 | 40 | 30 | 20 | | 10 |
| | | 教職員 | 7月 | | 83 | 17 | | |
| | | | 12月 | | 100 | | | |
| ⑦生 命 尊 重 | 自他の生命を大切にできる。 | 保護者 | 7月 | 38 | 50 | 13 | | |
| | | | 12月 | 75 | 25 | | | |
| | | 児 童 | 7月 | 30 | 50 | 10 | | 10 |
| | | | 12月 | 40 | 40 | | | 20 |
| | | 教職員 | 7月 | 33 | 67 | | | |
| | | | 12月 | 33 | 67 | | | |
| ⑧ねばり強さ | 目標をもち、ねばり強く努力することができる。 | 保護者 | 7月 | 13 | 50 | 38 | | |
| | | | 12月 | 38 | 50 | | 13 | |
| | | 児 童 | 7月 | 10 | 50 | 30 | 10 | |
| | | | 12月 | 30 | 30 | 20 | | 20 |
| | | 教職員 | 7月 | 17 | 67 | 17 | | |
| | | | 12月 | 17 | 67 | 17 | | |

【 学校評価を通して ～考察・改善点～ 】

(1) 学校目標・学校運営等について

| | |
|---------------------|---|
| ①学校目標 | 昨年度に引き続き「国語・算数の基礎基本の確実な定着を図る」ことを学校目標として設定し取り組んできた。概ね肯定的な評価をいただき、2学期末の実施では4の評価が増えた。小中J S推進事業継続指導項目の「読書指導」や「家庭学習」の取り組みとも関連し、児童の基礎的・基本的内容の定着につながっている。冬季休業の学習をもとに3学期はじめの漢字計算テストの実施に新たに取り組み、家庭の協力のもと児童がめあてをもって学習に取り組んだ成果が多く見られた。今後は、表現力・言語力の育成という面で取り組みを進めていく必要があり、パワーアップタイムの内容面の検討を進めるほか、聞く・話す・伝え合う場の設定を工夫した授業の充実を図っていく計画である。 |
| ②学習指導 | 1学期末肯定的評価が80%に満たない項目だったため、夏季休業中に校内研修を核にして2学期の取り組みを検討した。三八地区複式教育研究発表会に学級担任全員が参加し研修を進め、複式指導の充実について教師一人一人が計画を立て、聞く・話す場面の設定を工夫した授業改善に取り組んだ。児童の学習ガイドの成長もあり、聞く・話す力の向上が見られている。2学期末のアンケート結果では4段階の保護者評価が30%増加し、今後も学習指導充実に向けていく決意を新たにした。 |
| ③生活指導 | 児童一人一人を大切に生活指導の充実を図り、学校生活アンケートや個人面談等の充実により、悩みや不安の把握と解決に向けて、全職員が情報を共有し一丸となって取り組んできた。その過程で、相手を思いやる心、相手の気持ちを考えた言動という面で児童に課題があること等、生活指導・道徳教育について今後も一層力を入れていく必要があることが明らかとなった。いつでもどこでも誰にでもさわやかな挨拶ができる児童の育成を重点課題とし、家庭との連携を密にした取り組みを進めていきたい。 |
| ④学校行事 | 保護者・地域と共に創る学校行事の伝統がしっかり定着してきている。特に保護者の心からの協力に感謝である。今後は、地域の方々の行事への参画という、地域密着型教育の推進を視野に入れた取り組みへと連携を充実させていく必要がある。 |
| ⑤学校運営 | 概ね肯定的な評価をいただいた。今後は、知・徳・体のバランスの取れた教育目標に向けた取り組みについて、指導の重点がより明確に分かりやすくなるよう、望まれる児童の姿をより具体的にイメージできる学校づくりに取り組んでいきたい。 |
| ⑥教職員 | 4段階の評価について、保護者・教職員とも70%近くの評価となった。学校評議員の方々からも、教職員の授業の姿勢や児童への接し方、学校行事の際のがんばりを肯定的に受けとめていただいている。今年度は校内研修として個人研究への取り組みを新たに取り入れ、教職員一人一人がめあてをもった授業づくり、学級経営に取り組んできた。今後も情報を共有し協働指導体制の確立に努めていく。 |
| ⑦広報活動 情報提供 | 4段階の評価が80%を超える結果となった。学校だよりの全戸配付、ホームページ更新、ブログの開設と日常的更新、参観日の機会を活用したホームページ閲覧など、様々な手立てで児童・学校の様子を伝えてきている。今後は双方向の情報共有の手立ての工夫を図っていきたい。 |
| ⑧保護者・ 地域との 連携 | 保護者ボランティアやPTA活動への協力、学校環境整備の面での支援等、保護者・地域に支えられる学校としての伝統を受け継いできている。今後は、協力から参画へという視点で、協働の精神を大切に連携を強めていきたい。 |
| ⑨学校の 安全性 | 年5回の安全教室の開催、外部指導者の活用による授業実践、保護者の協力のもと行う交通安全教室の実施、毎週の通学路点検等、児童の安全確保に最大限努めてきている。今後もあらゆる危険性を想定し、児童の安全が守られる学校づくりに努めていく。 |

(2) 小・中学校ジョイントスクール推進事業（継続指導項目）について

| | |
|-----------|---|
| ①あいさつ | <p>毎年大きな課題として取り上げ、年に何回か生活目標に設定し指導を進めてきた。学校の生活場面では、大きくはっきりしたあいさつや返事ができるようになってきたと感じており、児童の自己評価も向上してきた。しかし、生活全般を見ると児童一人一人の課題もあり、保護者アンケートからもあいさつについていつでも誰にでもしっかりあいさつできる児童の育成を望む声が寄せられた。今後は一人一人への声かけやあいさつを全教職員で励行し信頼関係に裏付けられたコミュニケーションを大切にしていきたいと考える。また、家庭でのあいさつ習慣の育成も大切な生きる力ととらえ、家庭との連携によるあいさつの指導を検討していきたい。</p> |
| ②聞く | <p>児童の自己評価が大きく向上した。概ね80%以上の肯定的評価となっており、相手を見て最後までしっかり聞く姿勢は概ね定着している。今後は、自分の考えと比べたり意見をもったりしながら聞くという力を育成していくために、話し合い活動の充実を図っていきたい。</p> |
| ③話す | <p>児童の自己評価は向上しているとは言えないが、保護者・教師の肯定的評価は概ね80%以上と向上した。今後は、授業場面、日常生活場面で児童が自分なりの言葉で表現していることを肯定的にフィードバックし、自己肯定感や話すことへの自信を育成していきたい。</p> |
| ④整頓 清掃 | <p>保護者・児童・教職員全てで肯定的評価の傾向で向上が見られている。日常生活指導や保健委員会の清潔検査の活動等、児童自らが気をつけようという姿勢が多く見られるようになった。清掃活動にもしっかり取り組んでいる。</p> |
| ⑤読書 | <p>学校目標の重点施策の一つとして掲げている指導項目であるが、1学期末のアンケート結果から指導の改善が最も必要であると共通理解した事項である。学級貸し出し文庫の新設、親子読書週間の実施、読書の時間の確保、めあてをもった読書の記録、移動図書を活用等、様々な取り組みを実施した。児童の様子からは、読む本の幅が広がり、物語等を読んでいる姿が多くなったという成果が表れている。しかし、児童一人一人の実態からみると読書に親しむ習慣という面でまだ不十分な点もあり、より一層指導の充実を図っていく必要があると考えている。</p> |
| ⑥家庭学習 | <p>保護者・児童の肯定的評価が60%台だったが、70%台まで向上が見られた。学校全体として、確かな学力の育成には家庭学習の指導が大切であると共通理解し、各学級で取り組みを進めてきた。家庭学習ノートの指導、宿題の量や質の検討、児童一人一人に合わせためあての確認等の手立てを工夫してきた結果、家庭学習の時間が確保され、児童一人一人の取り組みに成果が表れてきている。今後は自主的な家庭学習の内容等、家庭との連携による指導の充実を図っていく必要がある。</p> |
| ⑦生命尊重 | <p>概ね肯定的評価となった。動物飼育やひがしっ子農園活動等、体験的な学習を通しての学びはもちろん、こころの教育を基盤にすえた道徳教育の推進に今後も力を入れていきたい。</p> |
| ⑧ねばり強さ | <p>概ね肯定的な評価をいただいているが、児童の自己評価が低く、個別の課題が見える項目である。夢や希望をもって課題を設定し、ねばり強くその課題を解決するために努力することや自分の夢をあきらめないということは、これからの社会を生きている上で大切な「生きる力」であると考えている。今後は、自分なりのめあてをもつことや課題を解決していく過程における自己評価・相互評価を大切にすることで、児童の自尊感情や意欲を育成していく必要がある。</p> |